

略図の書き方と必要記載項目

略図の書き方

- ① 設置エリアの外周の形状を書く
- ② 障害物を書く（建物・樹木・花壇・段差・その他）
- ③ 傾斜部分を書く
- ④ ①～③で略図のベースが完成
- ⑤ 外部コンセントから5m以内にステーションを設置
- ⑥ ステーションから一筆書きになるように外周ワイヤーを引き
外周ワイヤー延長を記入（参考図の黄色い線）
- ⑦ 建物・樹木・花壇・1cm以上の段差などを囲むようにワイヤーを引き
各本数や箇所数を必要記載項目に記入
- ⑧ 傾斜の部分は、矢印で記入（角度も記入）
- ⑨ 狭小通路がある場合は、寸法を記入※W1.3m以上必要
（幅が足りない場合は、迂廻やエリアを分断）

必要記載項目の書き方

- ① 図面上の見やすい場所に記入ください。
- ② 外周ワイヤー延長：L = ○○m
- ③ 障害物：樹木○○本
花壇○○箇所
倉庫○○箇所
1cm以上の段差○○箇所
- ④ 傾斜：○○度
- ⑤ その他：狭小通路○○箇所

注意事項

- ・3cm以上の水溜りがある場合は、水没のおそれがあります。芝生を張り直して補修してください。（水没故障は、補償対象外になります。）
- ・外部コンセント付近に変圧器を収納する防水BOXが必要となります。（サイズ160×160×130）

参考図

①外周形状

②障害物

⑥外周ワイヤー

⑤ステーション

⑦外周ワイヤー
(障害物)

⑧傾斜部を記入

エリアが複雑な場合は、
ガイドワイヤーが必要と
なる。（略図を見て担当
者が判断します。）



狭小幅：W1.3m以上必要

【必要記載項目】
 外周ワイヤー延長：L = 130m
 障害物：樹木 4本
 花壇 5カ所
 倉庫 1カ所
 1cm以上の段差 2カ所
 傾斜：15度
 その他：狭小通路あり（幅1.6m）

狭小幅：W1.3m以上必要

⑨狭小通路